

大阪大学大学院理学研究科博士前期課程学生募集要項

第2次学生募集要項（高分子科学専攻）

令和4年4月入学者用

1. 大学院学生の受入方針（アドミッション・ポリシー）

大阪大学及び理学研究科のアドミッション・ポリシーについては、下記ホームページ（QRコード利用可能）を参照してください。

https://www.osaka-u.ac.jp/admissions/faculty/admission_policy



理学研究科各専攻の学位プログラム（教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）については、下記ホームページ（QRコード利用可能）を参照してください。

https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admissions_d/



2. はじめに

理学研究科全体及び高分子科学専攻の詳細については、下記ホームページを参照してください。

理学研究科 <https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/>

高分子科学専攻 <http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html>

3. 書類提出先・不明点等の照会先

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-1 大阪大学理学研究科 大学院係

TEL: 06-6850-5289 E-mail: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp

※大学院係の居室は理学研究科A棟 1階です。

4. 選抜方法等（専攻別募集人員・試験日時・科目・試験場）

試験は理学研究科（豊中キャンパス）内で行い、口頭試問、学業成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績及び研究分野等希望調書等を総合して行います。

試験室等については、「受験票」等送付の際に通知します。

専攻	募集人員※②	期日	時間	科目
高分子科学	若干名	令和3年11月6日(土)	13時～	口頭試問（専門※①及び総合）

※注意

- ① 口頭試問（専門）では、物理化学・有機化学・生物化学から2科目を選択していただきます。
- ② 試験の成績によっては、募集人員にかかわらず合格としないことがあります。

5. 合格者発表等

合格者発表日時：令和3年11月17日（水） 13時

入学手続日時： 詳細は、令和4年2月下旬頃に郵送する入学手続案内文書でお知らせします。

※注意

合格者発表は、指定した日時に理学研究科正面玄関において合格者受験番号の掲示により発表します。発表後、受験者全員に「合格者受験番号一覧表」を郵送します。

なお、合否に関する問い合わせには応じません。

6. 不測の事態が起こった場合について

不測の事態が起こった場合、入学試験の形態を変えたり、実施を延期することもありますので、理学研究科や志望専攻のホームページで必ず確認してください。ホームページのURLは「2. はじめに」を参照してください。

7. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者が、出願できます。（9）、（10）により出願を希望する場合は、「出願資格の審査」を行いますので、「8. 出願資格の審査」を注意深く読んでください。

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者又は令和4年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和4年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに22歳に達する者

ただし、令和4年度本研究科博士前期課程の高分子科学専攻の入試（令和3年8月24日（火）合格発表）に合格した者は、出願を認めません。

8. 出願資格の審査

前記出願資格(9)、(10)による出願を希望する者については事前審査を行います。令和3年9月21日(火)までに下表の書類を理学研究科大学院係に提出してください。

なお、郵送による場合は書留郵便とし、封筒の表に「博士前期課程2次募集高分子科学専攻出願資格審査申請」と朱書きのうえ、期限までに必着とします。(宛先は「3. 書類提出先・不明点等の照会先」参照)

提出書類	留意事項
出願資格審査申請書	
出願資格審査調書	本研究科所定の用紙に記入してください。
研究経験及び業績調書	
最終出身学校の卒業（中退）及び成績証明書	学校長名等で発行されたもので、該当する学校機関の公印等が入った日本語または英語による証明書を提出してください。最終出身学校を中退した場合には、直前の出身学校の卒業及び成績証明書も提出してください。
返信用封筒 (審査結果送付分)	定形の封筒に送付先（郵便番号・住所・氏名）を明記し、374円分の郵便切手を貼付してください。 ※海外から応募する場合には、切手・住所不要。氏名を記載した封筒のみ用意してください。

出願資格審査の結果は、令和3年9月30日(木)までに本人宛通知します。出願の資格が認められた者は、募集要項に基づき所定の出願手続を行ってください。

9. 出願手続等

出願しようとする者は、指定された書類を揃えて、理学研究科大学院係（A棟1階）の窓口で提出するか、又は大学院係宛郵送してください。郵送により出願する場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「博士前期課程2次募集高分子科学専攻入学願書在中」と朱書きしてください。

(1) 出願期日

令和3年10月6日(水)、10月7日(木)

受付時間 9時30分～11時30分、13時30分～15時

出願期日後に到着したものは受理しません。ただし、10月6日(水)までの消印のある書留郵便に限り、期日後に到着した場合でも受理します。

(2) 検定料 30,000円

1. 所定の検定料振込用紙を使い、銀行振込(電信扱)により納入してください。

(納入期間：令和3年9月21日(火)～令和3年10月7日(木))

※ 銀行(ゆうちょ銀行以外)の窓口で振込手続きをしてください。郵便普通為替・現金では納入できません。ATM(現金自動預払機)、ゆうちょ銀行からの振込みもできません。

※ 入学時に日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、検定料の納入は不要です。

2. 検定料振込用紙に必要事項を記入し、切り離さずに検定料を添えて銀行窓口へ提出してください。振込手数料は各自で負担してください。

3. 振込後、検定料納入証明書（取扱銀行収納印のないものは無効）を切り離し、検定料納入証明書貼付用紙の所定欄に貼付してください。振込金（兼手数料）受領書は各自保管してください。
4. 大規模災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。免除対象者や手続方法の詳細は、理学研究科ホームページを参照してください。
https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/admissions_d/
5. 振り込まれた検定料は原則返還しません。ただし、次の場合は返還します。
 - (1) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
 - (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - (3) 納入不要者が誤って振り込んだ場合

※返還手続については理学研究科大学院係へ問い合わせてください。

(3) 出願書類

6頁の表、および7頁「英語検定試験（TOEFL 又は TOEIC）の成績証提出についての注意事項」で確認してください。

10. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円（予定）
- (2) 授業料 年額 535,800 円（半期 267,900 円）（予定）

入学料及び授業料の納入時期、納入方法等の詳細については、別途入学手続案内文書送付（2頁「5. 合格者発表等」参照）の際に通知します。

※1. 日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、入学料、授業料とも納入不要です。

※2. 入学料・授業料の金額については、変更することがあります。

※3. 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

11. 注意事項

- (1) 提出書類、封筒は全て黒のインク又は黒ボールペン（消せるボールペンは使用不可）で記入するか、黒字で印刷してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願手続後は、記載事項の変更はできません。
- (5) 障がい等のある者で、受験や修学に際して特別な配慮を必要とする者は、令和3年9月21日（火）までに理学研究科大学院係へ問い合わせてください。
- (6) 受験票が令和3年10月21日（木）までに届かない場合は、理学研究科大学院係へ必ず問い合わせてください。
- (7) 国公立の研究機関や企業の研究者、高等学校教諭などの社会人が在職のまま入学する場合は、入学手続の際に所属長等が発行した「入学承諾書」又はそれに相当する書類を提出してください。（様式随意）
- (8) 試験実施時期の社会情勢に鑑みて、対面での口頭試問等の実施が適当でないと認められる場合は、試験実施方法を変更する場合があります。詳細は、電子メール、理学研究科ホームページ、専攻ホームページにて、変更が生じ次第、お知らせします。
- (9) 第1次募集を含め、各専攻において複数回受験の機会を設けていることから、第2次募集については新型コロナウイルス感染症にかかる追試験を実施しません。

12. 個人情報の取扱いについて

出願時に提出された氏名、住所等の連絡先、試験成績等の個人情報は、入学者選抜業務、入学案内業務及び入学後各種業務（教務・学生支援関係、授業料収納関係 等）のために利用します。

13. 参考情報

長期履修学生制度について

この制度は、職業を有している等の事情により標準修業年限内の修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。長期履修が許可された場合、通常の修業年限（博士前期課程は2年間）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。ただし、授業料が改定された場合、または長期履修期間に変更があった場合には、授業料が見直されます。長期履修学生制度の詳しい内容については、理学研究科大学院係まで問い合わせください。

出願書類リスト[高分子科学専攻志望者]

受験生本人が「提出者」欄で該当する全ての書類を準備し、チェック欄で不足・不備がないことを確認のうえ、出願手続してください。

なお、出願書類2. 及び3. は、該当する学校機関の公印等が入った、日本語または英語による証明書を提出してください。

出願書類	提出者	留意事項	チェック欄
1. 入学願書	全員	所定の用紙に記入してください。	<input type="checkbox"/>
2. 学業成績証明書	全員 出願資格(9)、(10)の者を除く)	出身大学の学部長(学長)名での発行を要します。	<input type="checkbox"/>
3. 卒業(見込)証明書	全員 出願資格(9)、(10)の者を除く)	出身大学の学部長(学長)名での発行を要します。大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、同機構が発行する「学士の学位授与証明書」を提出してください。また、同機構に学士の学位授与申請をする予定の方は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与申請(予定)証明書」を提出してください。	<input type="checkbox"/>
4. TOEFL又はTOEICの成績証の写し	全員	TOEFL又はTOEICの成績証の写しを提出するとともに受験時には成績証の原本を持参してください。なお、顔写真のない成績証は認めません。 ※その他、次頁「※英語検定試験(TOEFL又はTOEIC)の成績証提出についての注意事項」に注意してください。	<input type="checkbox"/>
5. 研究分野等希望調書	全員	専攻所定の用紙に「大学院において専攻する研究分野の希望等」を記入して提出してください。	<input type="checkbox"/>
6. 受験者写真票及び受験票	全員	上半身、脱帽、正面向き、3ヶ月以内に単身撮影した写真(縦4cm×横3cm)の裏面に志望専攻、氏名を記入し、所定欄に貼付してください。	<input type="checkbox"/>
7. 検定料納入証明書	全員 (日本政府国費外国人留学生を除く)	銀行窓口で検定料を納入し、取扱銀行収納印のあるものを検定料納入証明書貼付用紙の所定欄に貼付してください。 ※入学時に日本政府国費外国人留学生として在学する場合は、提出不要です。	<input type="checkbox"/>
8. 返信用封筒(2種類)	全員	以下2種類の封筒に送付先(郵便番号、住所、氏名)を明記して出願時に提出してください。 ・長形3号(120×235mm)封筒に郵便切手354円分を貼付(1通) ・角形2号(240×332mm)封筒に郵便切手510円分を貼付(1通) ※海外から出願する場合には、切手・住所不要。氏名を記載した封筒のみ用意してください。	<input type="checkbox"/>
9. 入学手続案内等送付票	全員	所定の用紙に送付先を記入してください。	<input type="checkbox"/>
10. 在留カードの写し、住民票の写し、又は旅券の写し	外国人	日本国籍を有しない外国人の志願者は、在留資格及び在留期間を明記した「在留カード」の両面の写し又は市区町村長発行の「住民票の写し(※)」を提出してください。在留カードを取得しておらず、かつ住民登録を行っておらず住民票の写しを取得できない場合は、旅券の写しを提出してください。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。	<input type="checkbox"/>
11. 国費外国人留学生証明書	日本政府国費外国人留学生	日本政府国費外国人留学生のみ提出してください。大阪大学理学部卒業見込みの者は提出不要です。	<input type="checkbox"/>

※英語検定試験（TOEFL 又は TOEIC）の成績証提出についての注意事項

- 1) 英語検定試験の成績証は、令和元年7月1日から令和3年10月6日までに受験した成績を有効とします。
- 2) 英語検定試験を複数回受けている場合は自分に最も有利と考える1つの写しを提出してください。
- 3) 出願時に成績証の写しを提出した者であっても、有効な受験期間内のスコアであれば、試験当日、新たな成績証の原本をもって試験監督者に申告すれば、その得点に差替えることができます。試験当日は成績証の原本と写しを持参し、写しを試験監督者に提出してください。
- 4) 成績証の取得が出願に間に合わない者は、受験票の写し又は申込書控の写し等、試験当日に成績証の原本を持参できることが分かる書類を出願時に提出し、試験当日に成績証の原本と写しを持参し、写しを試験監督者に提出してください。
- 5) 入学試験当日に原本を持参しなかった者は、TOEFL又はTOEICの点数を0点として入学試験の成績評価を行いますので注意してください。
- 6) TOEFLの成績証を提出する場合

ETSより郵送されたTest Taker Score Report (Examinee's Score Report) の写しを出願時に添付するとともに、入学試験当日その原本を持参してください。出願時にTest Taker Score Reportが間に合わない時は、ETS サイトの My Home Page 内に表示されたスコアをプリントアウトしたものを持出してください。この場合も入学試験当日は、該当するテストの Test Taker Score Reportの原本を持参してください。

なお、原則としてiBT(Internet-based Test、iBT® Home Edition及び iBT® Special Home Edition を含む)及びPBT(Paper-based Test)の成績証を有効とし、その他の試験区分のものは受け付けません。また、iBTテストでは Test Dateスコアのみを出願スコアとして活用します。(MyBestTMスコアは活用しません。)

- 7) TOEICの成績証を提出する場合

Official Score Certificate (Listening & Reading Test) の写し(A4版・白黒可)を出願時に添付するとともに、入学試験当日はその原本を持参してください。Speaking & Writingやその他の試験区分の成績証は受け付けません。また、TOEIC Bridge 及び団体特別受験制度(IP Institutional Program)の成績証は受け付けません。

本募集要項に係る専攻の研究内容及び指導教員

(令和4年4月入学)

高分子科学	<p>高分子科学の研究を行うために必要な教育を、講義及び研究指導を通じて行います。特に、高分子の合成・反応・化学構造などの高分子化学、高分子の光物性・固体構造・溶液及び融体の静的及び動的特性などの高分子物理化学、蛋白質・多糖などの生体高分子の構造・機能に重点をおきます。</p> <p>指導教員及び研究内容の詳細は、高分子科学専攻ホームページ(http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/exam/index.html)上で 受入可能な研究室を確認後、各研究室のページをご覧ください。</p>
-------	--